

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	心の自立性の獲得—環境から解放された心の進化と発達
研究代表者	藤田 和生（京都大学・大学院文学研究科・教授） ※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>本研究は、国際的に高い評価を受けてきた応募者の実証的比較認知研究を発展させ、人間を含めた動物の「心の自立性」を構成する認知機能の進化と発達のプロセスの解明を目指すものである。実績のある比較認知と発達に関わる研究者を組織して、広範な種比較と発達比較を行動的かつ実証的に検討することで、様々な知見や成果が得られることは期待できる。高次認知機能獲得に関する根源的成果につなげるためには認知モデルの研究者の参画が必要であると考えられると同時に、大規模な行動実験と観察分析研究の必要性も懸念されるが、先駆的研究であり、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>